



小渋川砂防工事現場見学会



6月は『土砂災害防止月間』と国土交通省で定めており、その一環として6月22日に大鹿小学校3年生を対象とした小渋川砂防工事現場見学会をコロナ対策を講じ実施しました。

小渋川砂防ステーションにて砂防の学習をしました



砂防ステーションで映像と模型を使い砂防の学習をしました。

女高堰堤でドローンの操作体験をしました



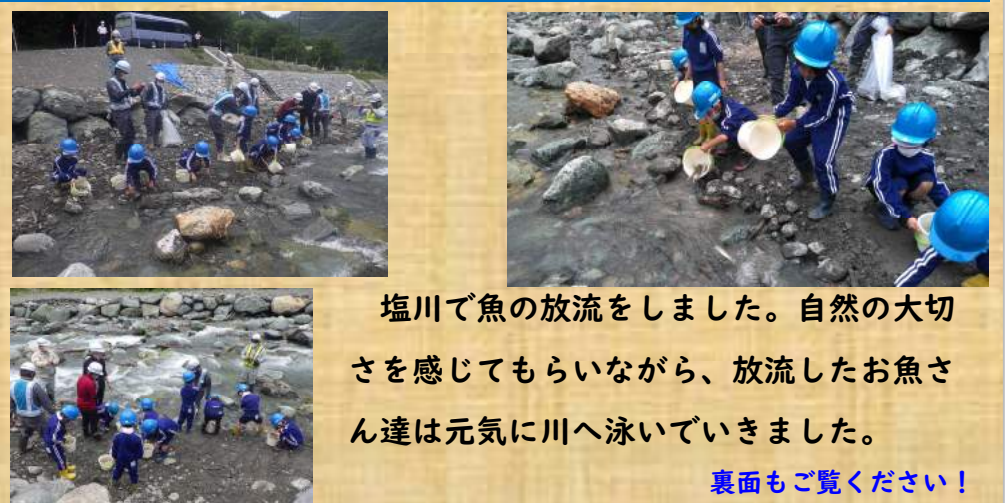
普段では見ることのできないドローンから映す上空からの映像をモニターで確認しました。また、実際にドローンを飛ばして操作体験をしました。初めてのドローン操作に子供達も大喜びでした。

工事現場の重機・ダンプの乗車体験



砂防工事現場の大きな重機、小さな重機、大きなダンプの操縦席に座り乗車体験をしました。子供達もみんな楽しそうでした。

魚を放流しました



塩川で魚の放流をしました。自然の大切さを感じてもらいながら、放流したお魚さん達は元気に川へ泳いでいきました。

[裏面もご覧ください！](#)

『ブルーベリーフェス』が開催されています

第1回となるブルーベリー『フェス』が7/1より、大鹿村内で開催されています。ブルーベリーの摘み取り体験や7つの飲食店や宿泊施設で、ブルーベリーを使ったメニューを味わうことができます。詳しくは大鹿村観光協会までお問い合わせください。



お問合せ・ご連絡先

大鹿村観光協会

〒399-3502 長野県下伊那郡大鹿村大河原389
TEL.0265-39-2929 <http://ooshika-kanko.com>



歴史ある大鹿村特産

1951年(昭和26年)

長野県において、戦後の農地開発事業の一環でブルーベリーの導入が計画され、県内4カ所の行政が手をあげ、その一つが大鹿村でした。

1976年(昭和51年)

ブルーベリーは、木が小ぶりで作業がしやすく、急斜面での栽培にも向いている農作物とのことで選ばれ、試験栽培が始まりました。村内4カ所10アールで順調に育ったため、すぐに本格的な栽培に移行しました。

1979年(昭和54年)

いよいよ出荷を開始しました。当時の日本は、ブルーベリーに馴染みがなく販売にも苦労しました。大鹿村は長野県におけるブルーベリー栽培を広げる一役を担いました。

小渋川砂防管内工事状況

《令和2年度 天竜川水系塩川上流床固工事》

【4月】



【5月】



【6月】



左の写真は砲丸投げの玉ではありません。恐竜の卵でもありません。これは塩川の河床から出土した青石です。床掘作業中に発見しましたが球体の形にビックリしました！

現在、左岸側の7号床固工の床掘作業を行っております。7月中旬より型枠、コンクリート作業を行います。梅雨の影響で河川の増水や湧水に悩まされますが引き続き地元の皆様のご理解とご協力を宜しくお願い致します。6月末進捗率8.0%です。



大協建設株式会社

《令和2年度 天竜川水系北川砂防堰堤補強工事》

【4月】



【5月】



【6月】



現在、北川堰堤の補強するためのチップング作業を行っております。梅雨時期で河川の増水に悩まされていますが、頑張って作業を行っております。引き続きご理解ご協力をお願い致します。6月末進捗率1.2%です。



田島建設株式会社

《令和3年度 天竜川水系小渋川砂防管内整備工事》

【4月】



【5月】



【6月】



現在、小渋川、青木川の流木集積作業及び河道整備、上唐沢砂防堰堤除石作業を行っています。随時、約10台の重機が稼働しています。近隣の皆様にはご迷惑お掛けしますがご理解ご協力を宜しく申し上げます。6月末進捗率19.8%です。

YOSHINO 株式会社吉野組